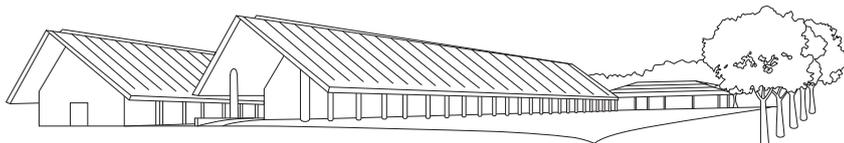


うつろひ VOL.103

リリースのおしらせ



佐川美術館友の会会員の方を対象に
年4回季刊誌を発行しており、
展覧会のみどころや耳より情報をお知らせしています。
1/1 発行の103号では、
『エッシャー 不思議のヒミツ』を特集します。
耳寄り情報満載のその他コーナーもお見逃しなく！

目次

企画展 エッシャー 不思議のヒミツ	1-2
玉堂へのオマージュ	3
コレクション×コレクション	PICK UP 4
コレクション展 平山郁夫 風土の美しさ	5
コレクション展 佐藤忠良 子どもたちへの願い	6
フジイさんが行く！ SHIGART	7
ART up	8
教えてセンパイ！	PICK UP 9
【告知】次回展	10
深#建築 LABO/ アンケート	裏表紙

次のページで
ちょっとだけ紹介！

年会費 3,000 円
でオトク！

友の会会員
募集中



詳しくは
コチラ

友の会会員の方には、季刊誌を
ご自宅までお届けします。
その他にも特典がいろいろ！
詳しくは美術館公式 HP 内、
友の会ページをご覧ください。

Join the Friends
of the Museum

collection X collection

コレクション × コレクション

第15回

2024年 2/6 (火)
25 (日)

子ども絵画コンクール 優秀作品展

未就学児から小学生を対象に、全国から多数の絵画作品が寄せられる子ども絵画コンクール。15回目を迎える本年度よりテーマを新しく「夢」へと改め、今までよりもさらに幅広い表現の作品が応募されることを期待し、募集しました。応募作品は、将来の夢、夜に見た不思議な夢、タイムトラベルなどバラエティに富んだ内容に加え、その表現方法も具象から抽象まで幅広く、子どもたちの限り無い可能性を感じさせるものばかりです。その中より選出された75点を優秀作品展で展覧します。「夢」をテーマに描かれた子どもたちの想像力溢れる作品をぜひご覧ください。

平山郁夫

文化遺産保護に見る平和への夢

《アンコールワットの遺跡 カンボジア》
1995年

内戦や浸食により崩壊の危機にあったアンコール遺跡群。一人の画家の始めた活動が、文化遺産を救う一助となりました。画家は、文化の面から平和の実現を目指して、世界へ働きかけます。柔らかな色彩で描かれた風景の裏に、理想と情熱が詰まっているように感じます。

NO IMAGE

著作権保護のため
画像表示できません

当館では作家ごとに展示することの多いコレクション作品ですが、1つのテーマからそれぞれの作品を見てみると、新たな視点で鑑賞できるかも!?今回は、子ども絵画コンクールのテーマ「夢」にちなんで、各コレクションのイチオシ作品を紹介します。

佐藤忠良

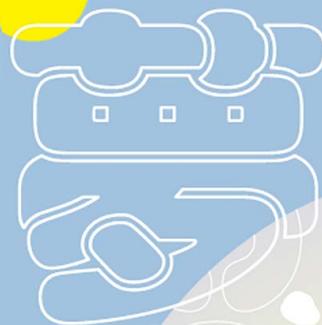


夢に向かう我が子の記録

《演技生》1963年

俳優という夢に向かい養成所へ通う作者の娘をモデルにした本作。運動会で我が子の勇姿を写真に収めようとする親心と同じように、佐藤も娘の輝く瞬間を残したい、という想いで制作したのかもしれませんが。モデルの真つぐな眼差しが、ひたむきに努力する姿の美しさを感じさせます。

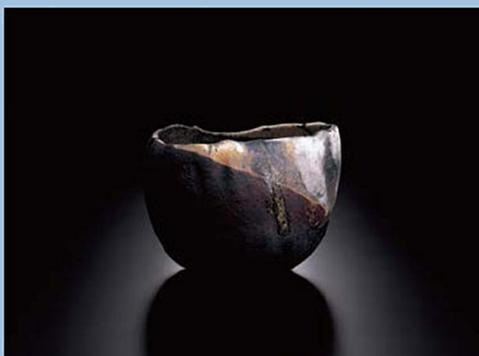
テーマは



茶碗に広がる幻想的な世界

《舟中夜起 I》2002年

銘に「夜、舟の扉を開けると湖面に月光が広がっていた。夢のように美しい風景を水鳥は見る。」という漢詩がつく作品。茶碗は舟を想起させる沓形で、黄土化粧が施された黒褐色は夜の湖、オレンジや白は月の光に見え、銘の世界観が詰まっています。詩の世界に入り込み、幻想的な光景を堪能した気分になれる作品です。



楽直入

子ども絵画コンクール
優秀作品展の会期中、
その続きの展示室で
鑑賞できます!

教えて セソパイ!

樂茶碗について
知識を深めた栗田さん。
樂直入作品の神髓である
焼貫茶碗について
ギモンがあるようです。

センパイ!

焼貫について
教えてください!



今回のセンパイ
松山さん

新人学芸員
栗田さん

焼貫ってなに?

直入作品ならではの技法で、「焼き貫
く」という意味です。樂家独特の鞆
(風を送り火をおこす道具)を取り付
けた黒樂窯で、黒樂茶碗を焼成する
時よりもさらに激しく鞆を吹き、
温度をあげます。高温の備長炭から
発する激しいガスの気流が茶碗を
とりまくことにより、複雑な窯変を
作る焼き方を駆使した技法です。

窯変とは「窯の内部で
作品に生じる色の変化」
のことで、火変わりとも
呼ばれます。



側面



正面

CLOSE
UP!



焼貫茶碗の
特徴の一つである
激しい篋削りに
ぜひご注目ください。

《焼貫黒樂茶碗 巖上に濡洗あり!》2004年

焼貫の特徴とは?

沓形(楕円形に歪めた造形)や大胆
かつ激しい篋削り、斬新な釉景色(銅
釉・黒釉・コバルト・クロム・金・銀・黄
土化粧など)、荒々しい土肌も焼貫の
特徴です。近年は、多彩な色合いは
抑えられ、モノトーン調の表現へと
変化しています。

どうやって作るの?

土は赤樂・黒樂と同様、聚楽土や樂
家に代々保管されている土、また近
年拝領した薬師寺東塔の基壇土を
使用し、手捏ねで制作します。黒樂茶
碗の焼成に使用される黒樂窯で焼き
ますが、一碗一碗焼き上げる黒樂窯
では、窯の温度は刻々と変化します。
焼成温度は経験の中で掴むしかなく、
1150℃から1200℃を超える
高火度焼成の領域までであると考えら
れ、焼貫はその最も高火度に達した
頃を見計らって焼成します。

なるほど!
見た目だけでなく
焼成温度にも特徴が
あるんですね。



《焼貫黒樂茶碗 銘瀬》2018年

季節の茶花



茶花は茶室において季節を表現する重要
な役割を担っています。千利休は茶花の
あり方について「花は野にあるように」と
いい、一輪の花に、野に咲く花の美しさと
命の尊さを盛り込むよう教えています。
中でもツバキは炉(11月〜4月)の代表的
な茶花です。茶席にいられた一輪のツバキは
品格があり、楚々とした美意識を感じさ
せます。花の少ない冬に見事に美しい花を
咲かせるツバキは、冬の初めから春の終わ
りまで重宝されます。



Instagramで
情報発信中!

展示室ではツバキをはじめ様々
な茶花を活けています。
ぜひご覧ください!

佐川美術館
公式Instagram
sagawa_art_museum

